

## 第17回 鳴門市市民活動交流研修会が開催 交通防犯、消費生活のイベントも同時開催



リサイクル山田 佐藤 由紀 代表

平成31年1月26日(土)、うずしお会館2階において、「第17回鳴門市市民活動交流研修会」が開催されました。市民活動報告会では、市内において、日頃から熱心に活動されている団体のみなさんによる報告・発表が行われました。まず、大麻町板東の山田地区で、資源リサイクルの運動などに長年取り組んでいるリサイクル山田の佐藤代表より、これまでの同グループの活動の様子をDVDで紹介し、現在特に重点的に取り組んでいるアルミ缶のリサイクル運動やその意義などについて発表されました。

続いて、板東地区自治振興会の廣田会長より、板東地区の風土や特徴や、自治振興会の活動状況とあわせ組織内の専門部会である文化部会、福祉部会、環境部会などで取り組まれている、第九の里コンサートや、よりあいふれあい研修会、板東谷川アドプト事業など年間活動の様子が紹介されました。

板東地区自治振興会の地域風土に根付いた特色ある取り組みが印象的な発表となりました。



板東地区自治振興会 廣田会長

3番目に登場したエベレスト・ザは、板東俘虜収容所の史実の啓発普及を音楽劇を通じて行っている「バンドー少年物語」実行委員会や、「第九」の演奏や啓発を目指しているうたの広場「NKB」等により構成されている団体ですが、舞台ではつらつと演じる子どもたちの、堂々とした立ち居振る舞いに会場の参加者も感銘を受け、フィナーレの第九合唱では会場全体が大いに盛りあがっていました。



フィナーレで「第九」合唱をする  
エベレスト・ザのみなさん

また、同時開催された交通防犯に関するイベントでは、昨年引き続き、ひまわり劇団による高齢者の交通事故防止に関する寸劇が、コミカルなかけあいの中で披露されました。

同じく、消費生活の啓発イベントとして行なわれた「消費生活に関する講演会」では、「笑いロスと食品ロス」を演題とする落語家笑福亭学光さんによる「独演会」が催され、お笑いを通じて、消費生活のありかたを学ぶ機会となりました。



### 講演:「アヴェ・マリアのヴァイオリンと世界記憶遺産」

主催: ユネスコ「世界の記憶」遺産登録推進市民協議会



香川宜子さんの講演

2019年2月24日(日)、鳴門市ドイツ館において、県人作家で医師でもある香川<sup>よしこ</sup>宜子さんによる『アヴェ・マリアのヴァイオリンと世界の記憶遺産』と題した講演会が開催されました。講演では、香川さん自身の初めての著作である「アヴェ・マリアのヴァイオリン」を切り口に、板東俘虜収容所関係資料「世界記憶遺産」登録申請に向けて動き出しているこの時期、一人の人間としてどのように向き合い、どのように考えるべきかについて、語られました。

第二次世界大戦時のポーランドにあったドイツナチスの強制収容所「アウシュビッツ」と第一次世界大戦時に鳴門にあった「板東俘虜収容所」を対極のモチーフにし、数奇な運命を持つ一丁のヴァイオリンを通してユダヤ人の少女「ハンナ」と徳島の少女「あすか」を結び、時空を越えたフィクションとして描かれた「アヴェ・マリアのヴァイオリン」は私たちに究極の「人間の良心」や「人間の尊厳」を鋭く問いかけています。

香川さんは、寛容さが失われつつある現代社会にあって、平和を維持していくために必要な「寛容な心を養う」ことの大切さを丁寧に、しかししっかりと会場のみなさんに語りかけていました。

寛容性のあるところから、慈愛と友愛が生まれてくるとの話もあり、かつてこの地にあった板東俘虜収容所の持つ意味を改めて考えさせられる機会となりました。

平和とは、ほんとの幸せとは何か、知識はもちろん、事象の本質をみつめる感性を磨いていくことの大事さを深く考えさせられる講演会となりました。

**「観て、聞いて、感じよう 鳴門いきいきウォーキング  
ノルディックウォーク観光体験ツアーin 鳴門市」  
パンフレット(冊子)が作成されました!!**

**鳴門ノルディック  
ウォーククラブ**

ポールを使用したウォーキングは、ポールウォーキングあるいはノルディックウォーキングと呼ばれています。近年、国内で開発されたポールを使用したノルディックウォーキングが注目され、若者から高齢者まで多くの方々に関心を持ち、全国的に広まってきています。



オリジナルマップ表紙

鳴門ノルディックウォーククラブは市民にポールを使用したノルディックウォークを広めることで、市民の健康増進に寄与することを目的とし活動しています。

鳴門市には他に例をみないほどの人気のある観光地ならびに隠れた名所が多くあります。これらの利点を活かし、市民の協力のもと、観光スポットを巡る地域別ウォーキングコースを設定し、オリジナルマップを作成しました。コースは全部で6か所あり、地区ごとの見どころや歩き方のひとくちアドバイスなどの記載もあり、楽しく見ることができます。これらの地域別コースを観て、聞いて自然を感じながら歩いていただき、観光地鳴門のさらなる魅力発見、個々の健康増進に役立てていただきたいと思います。

# ～支え合いと助け合いを通じた地域づくりを目指して～ 「第2回いきいき支え合い地域づくりフォーラム」



さわやか福祉財団 堀田力会長の基調講演

2019年2月24日（日）、鳴門市主催による「第2回いきいき支え合い地域づくりフォーラム」が開催されました。団塊の世代が75歳以上を迎える2025年を目途に、重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい生活を最期まで続けることができるよう、医療・介護・予防・住まい・生活支援が包括的に確保される体制づくり「地域包括ケアシステム」の構築が求められています。市においては、地域住民が主体となって、地域で支え合い、助け合い活動ができる体制づくりを、生活支援コーディネーターが中心となって進めてきましたが、昨年10月～11月にかけて、①居場所づくり、

②介護予防、③生活支援の3事業を住民主体で実施していく活動拠点となる暮らしのサポートセンターが市内3箇所に開設されたことから、この活動をより多くの市民の皆さんに知ってもらい、一緒に考え、活動をより広げていく場として開催されたものです。

基調講演では、「みんなで支えあう地域をつくろう」という演題で、公益財団法人さわやか福祉財団の堀田力会長が心の交流場所としての集まる場所の大切さを力説されるとともに、どんなことをしてほしいのか、何に困っているのか、何ができるのかなど、ちゃんと話しあう場を設け、お互い共有することが大事であり、時間をかけてじっくり進めることの大切さを先進地の竹田市の例などをあげて話され、また今後持続可能なシステムとするための有償ボランティア体制の構築や、機能として、居場所づくりとともに情報センター機能を持つことの必要性を説かれ、今後のありかたをみんなで考え、後に続くモデルとなれるようもう一歩踏み込んでがんばりましょうとの激励の言葉を送られていました。

続いて、3人の生活支援コーディネーターを代表して小谷さんより暮らしのサポートセンターの立ち上げ等に関する経過報告の後、堀田会長がコーディネーターとなり、泉鳴門市長、3箇所の暮らしのサポートセンター、「みんなの家 Asa 居」の島田代表、「縁どころ」の手塚代表、「むや」の乾代表の他、生活支援コーディネーターの小谷さん、佐藤さん、端村さんがパネリストとなってパネルディスカッションが行われました。

市内3箇所の暮らしのサポートセンターの代表は、それぞれの拠点で現在取り組んでいる介護予防活動や地域の人に関心をもって集まってもらえる居場所づくりのための特徴的な活動の内容を紹介するとともに、今後の取り組みを発展、充実させるにあたっての課題などについて発言されていました。

また、泉鳴門市長からは、来年度創設予定の子ども食堂や学習支援などに対する補助制度もあわせて、活動の豊富化も考えてもらえればとの提案もあり、有意義な地域フォーラムとなりました。



暮らしサポ代表者を交えてのパネルディスカッション

## 市民活動支援のための備品貸出をしています！

市民協働のまちづくりを推進するため、地域コミュニティ活動等にご利用いただける備品等の貸出を行っています。イベントや地域の行事を開催する際に、ぜひご利用ください。

### ・公用車



軽トラック

### ・備品



アンプ・マイク



ハンズフリー拡声器



かんたんテント  
(3m×6m 50kg)



オプション  
●キャリー  
●三方幕  
●加重プレート  
(10kg×6個)

#### <対象団体>

地区自治振興会、町内会又は自治会  
安全、防災、教育、福祉、環境、文化、スポーツ等関係団体

#### <対象活動>

防犯・防災活動、環境美化活動等の公益性のある活動

#### <申請方法>

公用車・・・鳴門市市民活動支援のための貸出公用車申請書兼誓約書に必要事項を記入のうえ、運転者の運転免許証の写しを添付し、使用しようとする7日前までに提出ください。

備品・・・鳴門市備品貸出申請書兼請求書に必要事項を記入のうえ、使用しようとする1日前までに提出ください。

※ 申請書類等は 市民協働推進課窓口にあります。

#### <貸出日時>

土曜日・日曜日・祝日を除く、午前8時30分から午後5時15分まで  
(12月29日から1月3日を除く)

#### <使用料>

無料(※ただし、公用車の燃料代は実費負担)

問い合わせ先 鳴門市市民環境部市民協働推進課 TEL 684-1189